



やまなし クリエイティブアワード2020

新聞広告部門

結果発表

やまなしクリエイティブアワード2020では、山梨県内の各協賛企業の課題テーマに合わせた広告作品を全国のクリエイターから募集いたしました。新聞広告部門には約120作品の応募があり、3月5日(金)に広告業界の第一線で活躍する福里真一さん、三井明子さん、小杉幸一さんにより、厳正な審査が行われ、受賞作品が決定いたしました。グランプリは、久保田浩司さん・小野誠三郎さんです。たくさんのご応募ありがとうございました。



3月5日に開催された審査会の様子
＝甲府・山日YBS本社

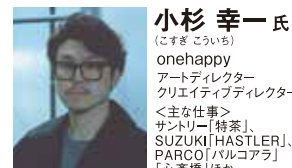
特別審査員



福里 真一氏
(ふくもと しんいち)
ワンズカイ
クリエイティブディレクター
CMプランナー
コピーライター
＜主な仕事＞
サンリー-BOSS(宇重人
ジョーンズ)、ENEOS
「エネコりん」ほか



三井 明子氏
(みつい あきこ)
ADKクリエイティブ・ワン
コピーライター
クリエイティブディレクター
＜主な仕事＞
宝島社新聞広告
(ペンキ、樹木毒林)、
味の素CMほか



小杉 幸一氏
(こすぎ こういち)
onehappy
アートディレクター
クリエイティブディレクター
＜主な仕事＞
サンリー(特茶)
SUZUKI「HASTLER」、
PARCO「バルコアラ」、
「心斎橋」ほか



グランプリ

＜課題スポンサー＞
Rethink PROJECT

＜制作者＞
久保田浩司・小野誠三郎
山梨県甲府市

＜コンセプト＞
玄関先にお裾分けされた農作物を見て、誰が置いていったのかが分かってしまう。普段から“人のつながり”が育まれているからこそこの現象ではないでしょうか。何気ない暮らしの中に、かけがえのない山梨の魅力を感じました。

＜制作者喜びの声＞
まさかのグランプリ!知らせを聞いたときは、信じられませんでした。関係者の皆様、日頃お世話になっている全ての方々に心より感謝申し上げます。

＜作品タイトル＞「イサオさんかな」



＜講評＞

こういう広告賞というどうしても肩に力が入ってしまうものですが、このぬげぬげとした感じがいいですね。ごろっと玄関に白菜が置いてあるだけ。それでいて思わず新聞をめくる手を止めさせる力があります。コピーとビジュアルの距離感もいいですね。イサオさんという名前の選び方も絶妙です。(福里真一)



＜作品タイトル＞
「これは、別腹だよ。」

優秀賞

＜課題スポンサー＞ 株式会社 桔梗屋



＜制作者＞ 名取正史 東京都三鷹市

＜コンセプト＞

洋であるプリンでありながら、和のテイストを感じさせる。商品であるプリンを目で認知させ、きな粉、ココのある黒蜜の2要素をイラストでシンプルに表現しました。キャッチコピーには別腹という言葉で、よりデザート感を演出しました。

＜制作者喜びの声＞

まず、こんなコンペがあるよと僕に連絡くれた両親に感謝です。ありがとう。そして想像力があればまだまだいろんなことができるんだと自信を得ることができました。

＜講評＞

「プリン」という意外性を、優美的に確かにビジュアライズされていると思いました。その優しさがコピーの「だよ」ともリンクし、初見からこの商品が「好き」になりました。情報の整理もレイアウトも、お手本のような美しさと安定感があります。(小杉幸一)



＜作品タイトル＞
「ガムシャラに技を極めたら、
プロフェッショナルの
チームになっていた!」

優秀賞

＜課題スポンサー＞ フォネットグループ



＜制作者＞ 小平浩也 東京都調布市

＜コンセプト＞

ファンを惹きつけるガムシャラプレー、技術や戦術を極めようとする探究心。こんなチームがあったら…と、妄想を膨らませていたら楽しくなってきた! フォネットグループ様、11社のドリームチームを、サッカーをテーマに描いてみました。

＜制作者喜びの声＞

「泥臭い最先端技術」このキーワードと格闘し対峙すると、アスリートのイメージへとたどり着きました。この広告が、夢や感動を与える、広告主様の一助になれば幸いです。

＜講評＞

11のグループ会社を、サッカーチーム(イレブン)に例えたアイデアが秀逸です。ユニフォームというモチーフと炎で構成するビジュアルが、わかりやすく目を引きました。コピーももう少しエッジを立てられたら、より強い表現になったのではと感じました。おめでとうございます!(三井明子)



＜作品タイトル＞
「笑顔」

優秀賞

＜課題スポンサー＞ 吉字屋グループ 山梨トヨペット株式会社



＜制作者＞ 笹本佳史 東京都江東区

＜コンセプト＞

多くの笑顔の写真と企業の社会的取り組みの写真によって一枚の広告を構成。逸目で見ると笑っている子どもにもなっているモザイクアートです。

＜制作者喜びの声＞

この度はご選出誠にありがとうございます。とても光栄に思います。また「吉字屋グループ 山梨トヨペット」様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

＜講評＞

ダイナミックな構図と素直なアイデアだと思います。ハッピーな原稿ですね!ただ普遍的な表現ではあるので、意外性や驚きがもう一つあると良かったかもしれません。(小杉幸一)